

サンクトペテルブルク市概要

2022年8月
在サンクトペテルブルク総領事館

1 概況・文化

- 人口約538万人。国内第2、欧州第3の都市（モスクワ：1260万人、ロンドン：950万人）
- ピョートル大帝が国防、欧州の先進技術導入、貿易による富国を目的に1703年に建設。ロシア帝国時代の1712年から1918年まで首都。今もなおロシア第二の都市として、政治、経済、学術文化の中心地となっている。
- 姉妹都市関係：サンクトペテルブルク市と大阪市（1979年）、同市クロンシュタット地区と兵庫県洲本市（2001年）、隣接するレニングラード州と京都府（1994年）が姉妹都市関係。

2 政治

- モスクワ市同様、市ながら連邦構成主体の1つ。2018年10月、前任のポルタフチェンコ市知事が辞任し、2019年9月、北西管区大統領全権代表であったベグロフ氏が市知事に就任。前々任はマトヴィエンコ現連邦院議長。
- 2021年9月、サンクトペテルブルク市議会選挙（定数50）による議席配分は次の通り。統一ロシア30、ロシア共産党7、公正ロシア5、ロシア自由民主党3、新しい人々3、ヤブロコ2。

3 経済

- 域内総生産 GRP（名目値）（2021年）は、4.8兆ルーブル（ロシア全体の約3.7%）。
- 市の主な産業として、造船や自動車産業を含む機械工業、金属加工、食品・軽工業があげられる。国内有数の観光地として、観光収入も多い。
- 市の対日貿易高（2021年1月から9月）は11.5億ドル、全対外貿易の2.8%。ロシア全土の主要対日輸出品は、鉱物資源、金属関連製品、貴金属・宝石、木材、パルプ・紙加工製品。主な輸入品は、機械・自動車、化学製品、金属関連製品。